

北☆ガク アートフェスティバル

～学生 × アートでまちづくり～

北区市民部地域振興課

札幌初の国際芸術祭が開催された平成26年度に地域振興課では同芸術祭を盛り上げるとともに、区民一人ひとりのアートへの関心を高めようと「北☆ガク アートフェスティバル」を開催しました。

このイベントでは、今まで区の事業に参加することが少なかった若い世代の参加を進めるため、大学生と月一度会議を行いながら事業の企画を行いました。集まってくれた大学生は市内の大学に通う約20名。この大学生を「音楽」「美術」「職業・IT」の3つのチームに分け、それぞれ「どんな企画を行いたいか」「どうやったら上手くいくか」について考え、話し合ってもらうことで、一緒にイベントを作っていました。

ここからは、各分科会のリーダーとして参加した学生から当日の様子や感想を紹介します。



月に一度の会議の様子。このほか、各分科会で適宜集まって当日まで打合せを重ねました。

【音楽分科会リーダー・深堀 航祐さん】

平成26年5月某日、北区役所内のある奥まった会議室に足を踏み入れた私は、音楽の視点から企画する音楽分科会に所属することとなった。

後日会議を開き仲間と知恵を出し合うものの、想像以上に難しい。しかし、リーダーとしての務めを果たすべく奮起して、市内の大学のアカペラ部などに声をかけ、観客も参加できるようなライブ形式を検討した。各大学に人脈がある人物が直

接出演交渉を行い、私もあるアカペラ部の部長に出演を打診し内諾までいただいた。初めはすこぶる順調であり、分科会の電子連絡板には「出演内諾」の4文字が躍った。

ところが先行きが不透明になっていく。折悪くも各大学が夏期休業に入ってしまったのだ。詳細の連絡を取るにも、返信は途絶、やっと返ってきたと安堵すれば事情が変わり出演辞退の知らせであることもままあった。分科会の仲間も就職活動や実習などに追われ、集まることすら厳しくなっていた。急減した出演者に代えて別の出し物を設定する案も出たが、同じく連絡がつかないか承諾を得られない。人脈も力尽き、息も絶え絶えの私たち。それでも最後まで粘り続け、地域振興課の方のご助言もあり、タイムテーブルの空白は埋まっていった。

こうしてステージを彩るアーティストは揃った。迫力のダンスや書道アートなどに舞台袖にいた私たちも観入ってしまった。

紆余曲折を経てステージは整ったが、私たちは自分たちの力不足を痛感した。しかし他大学の方との協働は非常に有意義なものであり、また若者の力が必要なお呼びいただけたら幸いである。



札幌国際大学のチアリーディング部



北高書道部のパフォーマンス

【美術分科会リーダー・熊谷 梓さん】

初めにこのお話をいただいた際、自分以外同じ大学の学生がいなくて他の大学の人たちとやっていけるのかな、と少し不安に感じていました。美

術の代表をやらせていただきましたが、企画に入っても普段学んでいることや考えていること、年齢もバラバラで、上手くまとめられるのか、成功させられるのかとても不安がありました。学校や学年も異なり、おのおのの都合などで顔を合わせることが少ないなか、お互いの進行状況やアイデアを出し合うなど、連絡を取り合いながら各自準備を進めていきました。

私は切り絵のコーナーを担当したのですが、実際に来ていただいた方に作ってもらうための説明がすごく難しかったです。自分がわかっていることが相手も知っているわけではないので、どう話せば伝わるのか考えながら動かしていました。

今回の企画で、接点が全くない他大学の学生たちとかかわりが持てたことがとてもうれしかったです。企画に携わり実際に企画に参加していただいた団体の方々の中には、活動やそれに触れる機会が全くなかったところもあり、新しい発見ができました。とても貴重な経験になったこと、一緒に美術の企画をしてくれた学生、参加していただいた団体の方々にはとても感謝しています。



バルーンアート体験コーナー モザイク写真も作りました！

【職業・IT分科会リーダー・浅井 俊行さん】

私は、北大グルメ Expo を運営している関係で北☆ガクアートフェスティバルに参加させていただくことになりました。北大グルメ Expo は電子スタンプラリーを使ったITによる地域活性化イベントです。

今回は職業の分野を担当することになり、職業(IT)とアートとの関係性を今一度考えるきっかけになりました。ITという分野では表現力が問われず。パソコンなどの画面上でしか相手に伝えられないので、内容をいかにして相手に伝えるのか、そこにアートの力が必要だと感じました。

当日は、ウェブデザインの仕事体験としてホームページを作っていただきました。小学生から高

校生までのお客様に来ていただきました。初めてパソコンに触れる方もおられ、キーボードを叩くと文字が画面に表示されることにも喜んでいただきました。

今回は、小学生にパソコンに触れる機会が作れたこと、中学生以上には、自分の思ったことをホームページとして表現してもらうことができ、IT分野に少しでも興味を持ってもらえたかなと思っています。



ウェブデザインの仕事体験

また、メンバーの成長も見られました。最終的にホームページを作るためのHTMLという記述方法の基礎をマスターし、自ら当日のタイムスケジュールを作成するメンバーがでるほどです。

一般の方にはまだまだITやプログラミングが身近ではないですが、このような機会がまた行われ、少しでもITに興味を持っていただければ幸いです。

当日は、これまで紹介してきた内容以外にも、ミュージシャンによるコンサートやさまざまな職業を紹介する講演、カフェブースなど、書ききれないほどたくさんのお出演・お出展がありました。

北区としては、これからも学生間の交流を促進し、まちづくり活動参加のきっかけとなるような事業の実施を検討していきたいと考えています。

○お問い合わせ
 北区市民部地域振興課
 まちづくり調整担当係
 TEL.011-757-2407